



平成 27 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 新日本電工株式会社
代表者名 代表取締役社長 石山 照明
(コード番号：5563 東証第 1 部)
問合せ先 取締役常務執行役員 越村 隆幸
(電話 03-6860-6800)

第 6 次 (2015～2017 年) 中期経営計画について

当社はこのたび 2015～2017 年 (平成 27～29 年) を実行期間とする中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 第 6 次中期経営計画の概要

当社は 2014 年 7 月 1 日に株式交換により中央電気工業株式会社 (以下「中央電気工業」) と経営統合を果たし、新日本電工株式会社 (以下「新日本電工」) として新たなスタートを切りました。

統合により新日鐵住金グループにおける重要性と供給責任が増大する中、両社共通の主要事業である合金鉄事業について、当社主導で製造、販売、原料購買、物流といった各分野の一体運営を開始しています。

今般策定した第 6 次中期経営計画は本経営統合を契機として、これまでに新日本電工及び中央電気工業がそれぞれ築き上げてきた経営資源を最大限に活用して、「総合力を結集し、更なる飛躍への基盤強化」をテーマとして策定いたしました。

「2 CORES by 1」

本中期経営計画期間中に、新日本電工と中央電気工業の完全統合を目指す。
両社に共通するコア事業「合金鉄」と「機能材料」の収益力・競争力を一体となって強化する。

激しいビジネス環境の変化やグローバル化に対応できる人材の育成に力を注ぎ、環境の変化にしなやかに対応できる効率的で活力ある組織を構築する。

2. 経営目標

第 6 次中期経営計画の経営目標として、最終年度の 2017 年において

連結売上高1,070億円、連結経常利益95億円と設定しました。主力事業の合金鉄の収益性を強化しながら、成長事業である機能材料の事業拡大を着実に進めることで2012年以後停滞していた業績を再び成長軌道へと導きます。

目標（2017年）

連結売上高	1,070億円
連結経常利益	95億円
ROE（株主資本利益率）	8%以上

3. 事業別の主要施策

1) 合金鉄事業

- 高炭素フェロマンガンは徹底的に操業効率を高め、収益の最大化を目指す。
- SLPフェロマンガンは生産能力を現状年産4万トンから4万5千トンへ拡大し、高級鋼向け需要を取り込む。
- 寡占化が懸念材料となっているマンガン鉱石については、2013年に権益を取得した南アフリカのKudumaneマンガン鉱山から年間10万トン程度を購入し、当社の原料安定調達の一翼とする。

2) 機能材料

- 電池材料の開発スピードを上げ成長市場のニーズを的確に捉えることにより、競争優位性を確立する。
- 安定収益を上げるフェロボロンに加え、ジルコニアの新規需要の開拓等、積極的なマーケティングを行う。

3) 環境システム事業

- 主要需要先の表面処理業界への販売を固めつつ、燃料電池分野などの新たな需要を開拓する。
- 可搬式装置のレンタルというビジネスモデルに加え、設備案件の安定的獲得を目指す。
- 韓国に加え、新たな地域における海外展開を検討する。

当社はこれらの施策を着実に実行していくと共に、本中期経営計画期間の中でグループの成長とその価値を高めるべく、選択と集中による経営資源の最適配分の観点から事業ポートフォリオを再構築してまいります。また、完全統合によりさらなる経営効率化を図ってまいります。

以上